

12月4日（木）、5日（金）

2つのグループに分かれて、小学部低学年の運動会を行いました。徒競走やクラス種目、全員でダンスをしました。

クラス種目では、竹ぽっくりをしたり、ボールをもってシュートを決めたり、教師や友だちと一緒に息を合わせて動いたりと、これまでの練習を活かして、自分の力を発揮することができました。また、頑張っている友だちを応援する姿もたくさんあり、素敵な姿がいっぱい見られた運動会となりました。



11月5日（水）

小学部低学年の学習発表会が行われました。今年のテーマは『バスにのってレッツゴー』です。バスに乗って、いろんな街に行きます♪

クラスごとに分かれて、竹ぽっくりに乗ったり、ウッドブロックや和太鼓を演奏したり、マジックを披露したりしました。一人ひとりがこれまで練習してきた成果をのびのびと発揮することができました。



＜小学部（低学年）＞

1 概要

小学部低学年は、1年生17名、2年生9名、3年生18名の計44名の児童が在籍しており、通学生は38名、施設生は6名となっている。児童の障害の状況としては、知的障害に自閉スペクトラム症・脳性まひ・ダウン症などを伴っており、中でも自閉スペクトラム症の占める割合が高くなっている。また、生活年齢の幼さや障害上の理由から環境や場面の変化に対応する力が弱い児童など、教師との手厚い関わりや様々な配慮が必要な児童が在籍している。

2 教育方針

低学年は、学校生活の入門期であり、新しい集団の中で学習にじっくりと取り組みながら、就学前でつけた力をさらに成長させて、これからの中学校生活の“土台づくり”をする時期である。また、成長していく上で必要となる、人との信頼関係を育む大切な時期でもある。そのためには、まずは生理的基盤を整え、生活リズムを安定させることが大切である。人や物に向かえるよう健康面や日常生活面の指導を丁寧におこなう。その上で身体を使った楽しい活動を教師と一緒にたっぷりとおこなう中で、自分の思いがしっかりと受け止められているという実感を積み重ねたい。また、自分の周りで起きていることに関心を高め、自分から関わろうとする意欲を高めていく。そして、教師との安心できる関係をつくり、その働きかけを受け止めたり、少し苦手なことにも一緒に向かえるような信頼関係を築いていく。このような人との関係を基礎として、コミュニケーションをする力を養い、世界を広げながら、豊かに生きる力につなげていくことを大切に取り組んでいる。

3 教育目標

◎教師と安心できる信頼関係をつくり、人との関わりを通して生きる力の基礎を養う。

- (1) 生理的基盤や生活リズムを整え、健康な身体をつくる。
基本的生活習慣を身につける。
- (2) 身体を使って活動する中で、その楽しさや喜びをたくさん味わう。
活動や素材に気持ちを向けて、たっぷりと身体を使う。
- (3) 周りのものごとへの気持ちをふくらませ、活動を通じて理解を深め、自分からの関わりを広げる。
- (4) 教師への安心感や信頼感を築き、その関係を基に思いを膨らませ、表し伝える力を豊かにする。

4 学部のスローガン

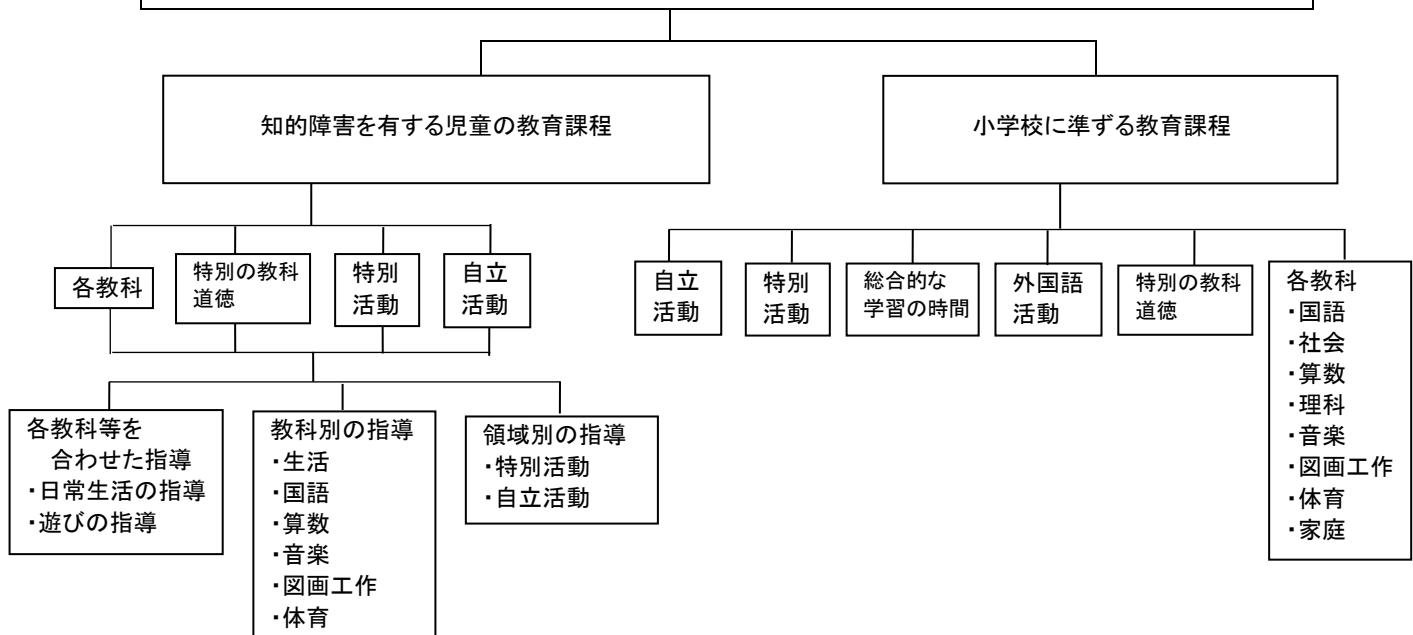
「げんき いっぱい エイエイオー」

5 教育課程の特色

基礎学級は一人ひとりの実態に即した効果的な指導が行えるように、教育課題別の集団編成である。集団編成の観点としては、対人面の力や認識面の課題を中心とし、障害や生活年齢、集団の大きさなども配慮して編成している。基本的にはほぼ学級ごとに「日常生活の指導」や「自立活動」、課題別の学習などに取り組んでいる。課題別の学習では、「生活（せいかつ）」「国語・算数（みる・きく・はなす）」「音楽（おんがく）」「図画工作（ふれる・えがく・つくる）」「体育（うんどう）」を午前中に取り組んでいる。午後は遊びの指導（自由遊びや設定遊び）や少人数での学習を行うなど、それぞれの子どもの実態に応じて柔軟な対応をしている。午後からの活動は合同で行っているものもあるが、一日を安定して過ごせるようほぼ同じ集団で過ごし、日課も子ども自身が次の活動に向かうための自由あそびの時間を保障するとともに、わかりやすくゆったりとした流れを設定している。

〈小学部低学年 教育課程構造図〉

学 校 教 育 目 標	
<p>ひと 人間としての尊厳と可能性への信頼を原点として ・児童生徒一人ひとりの発達と障害に応じた教育を行う。 ・健康で明るい生活をするために、調和のとれた心身の育成に努める。 ・社会的・職業的に自立できる人間の育成をめざす。</p>	
学部教育目標(小学部低学年)	
<p>◎教師と安心できる信頼関係をつくり、人との関わりを通して生きる力の基礎を養う。</p> <p>＜健康・生活＞ ・生理的基盤や生活リズムを整え、健康な身体をつくる。 ・基本的生活習慣を身につける。</p> <p>＜身体機能＞ ・身体を使って活動する中で、その楽しさや喜びをたくさん味わう。 ・活動や素材に気持ちを受けて、たっぷりと身体を使う。</p> <p>＜認知＞ ・周りのものごとへの気持ちをふくらませ、活動を通じて理解を深め、自分からの関わりを広げる。</p> <p>＜社会性・コミュニケーション＞ ・教師への安心感や信頼感を築き、その関係を基に思いを膨らませ、表し伝える力を豊かにする。</p>	
教育課程編成上の観点(小学部低学年)	
<ul style="list-style-type: none"> 生理的基盤を安定させ生活リズムを整えることで人や物に向かえるよう、健康面や日常生活の指導を大切にしている。 楽しい活動を教師と一緒に行う中で自分の思いを受け止めもらっているという実感が持てるようにし、教師と安心できる関係を作る。 各教科を中心に、個々の実態に応じた学習にとりくみ、手ごたえのある活動を重ねる中でできた実感や意欲を高めていく。 対人面の力や認識面での課題を中心に教育課題別の集団編成をし、基本的にはほぼ学級ごとで取り組んでいるが、学習によってはより大きな集団や少人数で行うなど実態に応じて柔軟な対応をしている。 	



*「特別の教科 道徳」は、「日常生活の指導」の中で取り扱う。

小学部低学年 教育課程表(令和7年度)

種別		知・単／ 知・重／ 肢・重	肢・単		
各教科科目等	部・学年	小学部 低学年 1～3年	小学部 低学年 1年	小学部 低学年 2年	小学部 低学年 3年
各教科等を合 わせた指導	日常生活の指導	12			
	遊びの指導	5			
各教科	生活	1	3	3	
	国語	0.5	9	9	7
	社会				2
	算数	0.5	4	5	5
	理科				2.6
	音楽	1	2	2	1.7
	図画工作	1	2	2	1.7
	体育	1	2	2	2
	家庭				
特別の教科	道徳	(*)	1	1	1
外国語活動					1
総合的な 学習の時間					2
特別活動	学級活動 児童会活動	1	1	1	1
自立活動		5	1	1	1
週合計		28	25	26	28

* 「特別の教科 道徳」は、「日常生活の指導」の中で取り扱う。

小学部低学年 週時程表

校時	時間	月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:00	日常生活の指導 (「朝の会」含む)	日常生活の指導 (「朝の会」含む)	日常生活の指導 (「朝の会」含む)	日常生活の指導 (「朝の会」含む)	日常生活の指導 (「朝の会」含む)
2	10:00 ～ 11:00	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
3	11:00 ～ 12:00	課題学習	課題学習	課題学習	課題学習	課題学習
4	12:00 ～ 13:30	日常生活の指導 (給食・昼休み)	日常生活の指導 (給食・昼休み)	日常生活の指導 (給食・昼休み)	日常生活の指導 (給食・昼休み)	日常生活の指導 (給食・昼休み)
5	13:30 ～ 14:10	遊びの指導	遊びの指導	遊びの指導	遊びの指導	遊びの指導
6	14:10 ～ 15:00	日常生活の指導 (「帰りの会」含む)	日常生活の指導 (「帰りの会」含む)	日常生活の指導 (「帰りの会」含む)	日常生活の指導 (「帰りの会」含む)	日常生活の指導 (「帰りの会」含む)

* 「課題学習」の時間は、『生活（せいいかつ）』『国語・算数（みる・きく・はなす）』『音楽（おんがく）』『図画工作（ふれる・えがく・つくる）』『体育（うんどう）』等を行う。

* 『遊びの指導』の時間は、クラスごとに取り組む曜日と、学部全体で取り組む曜日を設定している。

* 『特別の教科 道徳』は、『日常生活の指導』の中で取り扱う。